

相生っ子

○めざす児童像
一心豊かに たくましく
ともに伸びゆく 相生っ子



令和4年7月14日 相生小学校 校長室だより 第11号 文責：岩佐隆之

熱中症対策にも、しっかり取り組んでいます。ご理解、ご協力をお願いいたします

早々と梅雨が明け、迎えた本格的な夏。相生っ子が楽しみにしている夏休みまで、あと1週間です。

学校では、感染症予防とともに、次のような熱中症対策にも取り組んでいます。

- 相生地区に「嚴重警戒」や「危険」の熱中症情報が出た場合や県から熱中症アラートが出た場合は、プール以外での屋外での活動はとりやめています。
- 外気温が26℃以上となった場合は、設定温度を25℃にして、エアコンをつけます。
* 学校環境衛生基準では、最も学習に望ましい条件は17℃以上28℃以下とされているため
- 登下校の際も、帽子の着用をお願いします。紅白帽でも野球帽でも構いません。
- 水分補給が十分にできるよう、大きめの水筒を持たせてください。
- 体調を崩している児童もいます。十分な睡眠や休息、栄養をとり、健康観察をしていただくなかで、体調がすぐれない場合は、ご家庭でお休みください。

昨年度より、次の国や県の指定を受け、特別活動の実践研究を進めています

- 国立教育研究所による教育課程実践検証協力校事業に係る協力校（へき地教育・特別活動）
- 徳島県特別活動小中連携研究指定校事業による「OUR徳島特活いきいきプロジェクト」

特別活動とは、学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事の4つの内容があり、朝・帰りの会や給食・清掃等の学校生活全般がその対象です。ねらいは、「子どもたちがよりよい自分や学級・学校生活、人間関係をつくる活動を通して、共生社会でよりよく生きる力を育む」ことで、育成する資質・能力の重要な視点は、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つです。特別活動を推進することにより、一人一人が大切にされる学級・学校づくりやいじめの未然防止、学力向上にもつながります。また、「キャリア教育の要」として、自立して生きる態度やなりたい自分の実現にもつながるのです。

研究主題 「子どもが主役の学級・学校づくり」を推進する特別活動
—自らの学級や学校、ふるさと相生をよりよくしようとする子どもの育成—

この主題のもと、全ての学級で「学級活動(1)」いわゆる「学級会」の充実に取り組んでおり、「教師の適切な助言のもと、時間内に、全員が納得できる合意形成が図れる学級会」をめざしています。

(裏面もご覧ください。)

東京から講師を招き、全学年で学級会研究授業や各教科の公開授業を行いました

<6月30日(木)>(講師 文部科学省初等中等教育局視学官 安部恭子先生)

○ 公開授業 (1・3・4・6年) 9:35~10:20

学年	教科	単元名	授業者
1年	生活	夏を楽しもう	徳野 千寿
3年	学級活動	学級のキャラクターをつくろう	喜多 将記
4年	国語	走れ	山本 健介
6年	社会	大陸に学んだ国づくり	八島 友美

○ 研究授業 (2年) 10:40~11:25

学年	議題名	授業者
2年	1年生といっしょに、一学期がんばったね会をしよう	森北 涼生

○ 研究授業 (5年) 11:35~12:20

学年	議題名	授業者
5年	「学校そうじ祭り」をして、学校をピカピカにしよう!	鈴木 千昌



<7月4日(月)>(講師 國學院大学教授・元文部科学省初等中等教育局視学官 杉田 洋先生)

○ 公開授業 (1・2・3・4・5年) 10:40~11:25

学年	教科	単元名	授業者
1年	道徳	おかしくないかな	徳野 千寿
2年	国語	ことばで絵をつたえよう	森北 涼生
3年	国語	慣用句を使ってみよう	喜多 将記
4年	学活	おすすめ(お気に入り)のものの発表会をしよう	山本 健介
5年	学活	一学期ありがとう&二学期もがんばるZ会をしよう	鈴木 千昌

○ 研究授業 (6年) 学級会 11:35~12:20

学年	議題名	授業者
6年	一学期がんばったね会をしよう	八島 友美



学力や体力の向上、ふるさと学習等にも取り組みながら、実践してきた学級会。新学年になって3か月ですが、昨年からの積み重ねを生かし、自分たちで話し合っ決めてようとする姿は、講師先生からも多くのお褒めの言葉をいただきました。理由を添えて自分の意見を言う姿。友達の意見を聞きながら、賛成・反対や心配意見を発表する姿。相談しながら話し合いを進めようとする姿。話し合いが膠着すると、合わせる意見やまとめる意見、提案理由に沿った意見を出して、合意形成を図ろうとする姿。自分の思いを大切に発言する姿もありました。落ち着いて学習する中で、タブレットや電子黒板、グループ学習や意見発表を採り入れた公開授業も好評でした。教師の適切な助言や視覚的・構造的な板書等の課題も出てきました。今後も、自他の意見を尊重しながら、話し合いで解決する力をつけていきます。

(裏面もご覧ください。)